

平成15年度 大学情報化職員研修会

開 催 要 項

平成 15 年 9 月 2 日(火)～4 日(木)

会場：関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市)

社団法人私立大学情報教育協会

研 修 運 営 委 員 会

平成 15 年度・私情協研修等事業

7 月大学情報化職員基礎講習会
7 月学内 LAN 運用管理講習会
8 月授業情報技術講習会
9 月大学情報化職員研修会
11 月事務部門管理者会議

1. 研修目的

この研修会は、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関与し得るよう、日常業務の情報化をはじめ意思決定支援のための情報システムの構築と活用などについて、職員一人々の情報活用能力の向上を図り、大学改革に寄与し得る職員の研修を目的として開催するものです。したがって、ここでは、単なるIT化についての情報交換や、技術的な解決策を導き出すことを目指すものではなく、教育支援のために寄与し得るよう考える場にしたいと考えています。

研修は、4つの大きな基本テーマ「A」大学の事務情報統合化、「B」教育の情報化支援、「C」学園の戦略的情報化、「D」インターネットと情報共有に基づき、情報化のための環境作り、運用、効果、体制等に関する問題全般について、参加者相互によるシステムの事例紹介、討議をもとに理解を深めます。

研修内容

学内の基幹業務あるいは業務を横断するテーマについて討議と事例研究を行い、問題解決の方法について理解を深めます。なお、本年度より、情報センター等部門の研修を本研修会に統合しました。昨年度まで情報センター等部門研修会に参加されていた方はコース、のプログラムに参加されることを希望します。

A)大学の事務情報統合化	
コース	学生基本情報管理(卒業生・校友会を含む)
コース	履修登録と成績管理、シラバス
コース	キャリア支援
コース	奨学金業務
コース	管財・施設管理
B) 教育の情報化支援	
コース	教育・研究支援(教材コンテンツ、学術情報DB、FD、eラーニング) この分科会は扱うテーマが広範なため分割します。
C) 学園の戦略的情報化	
コース	学園情報基盤整備
	この分科会は組織体制と情報基盤整備を扱う2グループに分割します。
D) インターネットと情報共有	
コース	ITを利用した協業体制(文書管理を含む)
コース	インターネットを利用した戦略記学園広報

2. 全体会

「大学評価の時代に求められる人材育成のための教育支援」

平成16年度より大学は、教育・研究活動全般に亘り、第三者評価機関の評価を受けることが法律で義務づけられることから、学内での自己点検・自己評価を行うことが必然となる。大学の使命は、それぞれの大学が掲げる教育理念に基づいた人材育成である。

それには、大学は、一人々の学生に自己実現の能力が備わるように、あらゆる工夫を駆使して、学生の希望に即した学習支援や学園生活の支援を的確に行えるよう、学生一人々に対して、肌理の細かい支援が必要となってくる。例えば、学生に関わる全ての情報(入学時の学力、履修・成績情報、学習相談情報、進路希望情報、資格取得情報、学園生活情報、課外活動情報など)を個人別にデータベース化し、学内LANを駆使し、教職員が学生個人情報を踏まえて常時学生とコミュニケーションを図り、履修相談や進路相談、職業観の育成を行うなどの情報システムの整備が望まれる。

このように学生一人々を、大学が掲げる有為な人材に育成していくには、これまでの業務を主体にした情報化政策を見直すとともに、全ての大学職員が自己の業務を通じて教育支援に携わることを意識することが要請されてくる。

以上により、全体会では、これからの教育支援のあり方と職員に求められる意識改革をテーマと

して掲げ、参加対象者に応じた講演、解説、事例発表を企画した。

なお、事例発表では上記趣旨を踏まえ、札幌学院大学より、学生の個人情報を教育支援に活用する「学生カルテ」構想事例を紹介いただくこととしている。

3. 参加資格

加盟大学教職員：当協会加盟大学 短期大学の職員で、大学業務の情報化に携わる方。グループのテーマに関心がある方で、積極的に意見交換ができる方。なお、「教育支援」学園情報基盤整備」コースでは教員も対象とします。

賛 助 会 員：本研修会の開催内容に関連する当協会賛助会員企業の方で、討議に積極的参加の上、関連情報の提供などにより参加グループの討議促進に貢献できる方。

4. 参加者レポートについて

各コース指定の様式にてレポートを事前提出することを参加の要件とします。次ページからの各コース概要をよくご覧いただき、指示に従ってレポートを作成願います。

提出は下記の Web ページから送信していただきます。また、参加者レポートは、同 Web ページにて相互に閲覧可能とします。事前にご一読の上、所属するグループの参加者レポートのみ印刷し研修会へ持参ください。

<http://www.juce.jp/kenshu/shokuin2003/>

参加者レポートは討議の進め方、事例発表等の参考にさせていただきますので、申し込みが済みましたらできるだけお早めに提出ください。また、何らかの事情により Web からのレポート送信ができない場合は事務局にご相談ください (TEL 03-3261-2798)。

5. 募集定員

教育・研究支援コースおよび 学園情報基盤整備コースは最大 100 名程度。
その他のコースは最大 50 名程度とします。

6. キャンパス見学

希望者を対象に、全スケジュール終了後、1 時間程度のキャンパス見学を実施します。参加費は無料ですが、事前の申し込みが必要です。昼食は各自お手配いただきます。

7. 参加費

1 名 31,300 円

8. 日程および会場

<日 程> 平成 15 年 9 月 2 日(火) ~ 4 日(木)

本年度は 1 日程にて開催いたします。

<会 場> 関西大学千里山キャンパス

<所在地>大阪府吹田市山手町 3 - 3 - 35

<交 通> 東海道新幹線 新大阪 駅下車 市営地下鉄御堂筋線乗り換え 西中島南方 駅下車
徒歩 1 分 阪急 南方 駅にて乗り換え 北千里 駅に乗り換え、関大前駅下車。徒歩約 5 分
本年度は合宿研修ではありません。宿泊については各自に手配いただきますようお願いいたします。

9. 参加申込方法および締切日

参加申込書を大学ごとに一括してとりまとめ、8 月 20 日(水)までに私情協事務局宛に FAX

願います。FAX 送信後は着信確認の電話をお願いします。締切日以降でも定員に余裕があれば申込を受け付けますので、事務局にお問合せください。参加申込が済みましたら、各参加者所定のレポートを上記項目 4 のとおり Web サイトから送信願います。

〔FAX 送信先〕 社団法人私立大学情報教育協会 事務局

FAX : 03-3261-5473

10. 参加費納入方法

参加費は、参加者確定後、大学ごと一括して 9 月 2 日 (火) までに銀行振込により納入ください。

< 振込先 > りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金

口座番号 0054409 名義人 : (社) 私情協

11. 研修会報告書

本研修会終了後、報告書を刊行し参加者全員に送付いたします。

- - - - -

【各コースの概要】

学生基本情報管理コース

1. メインテーマ

学生支援・教育支援のための学生情報システムとは」

2. グループ討議の内容・形態

本コースでは、学生支援・学生サービスや教育支援といった大学本来の使命である人材育成をサポートするための学生情報システムについて探求することを目指している。

学生は大学に何を期待しているのか、大学は情報を活用して学生にどのような支援が行えるのかという基本的なことから考え、学生をトータルにサポートしていくシステムとはどのようなものか、またそれを実現するために学生基本情報のデータベース化をどのように構築することが望ましいのか、意見交換・討議する中で問題点を把握し、解決策を模索する。

サブテーマ

- ・ 学生支援・学生サービス、教育支援 ・ 提供できる情報・利用したい情報とは ・ 情報保護
- ・ 学生基本情報とは何か

3. 事例発表、~~二~~事例発表の有無

現在運用中、あるいは準備を進めているシステムについての~~二~~事例発表をお願いします。これらを参考にグループ討議を行いたい。また、各大学の状況報告をお願いします。

4. 参加者レポートの記入事項

以下の項目についてまとめたレポートの事前提出を参加の必須条件とする。

・このグループへの参加動機 ・自校の学生情報システムの運用状況

・このテーマに関する情報交換希望項目

- - - - -

履修登録と成績管理、シラバス

1. メインテーマ

「学習を支援する教学事務とIT活用」

2. グループの討議内容・形態

教学事務におけるITの活用は、学生の履修・成績管理を合理的に行うだけでなく、学生一人々が主体的に授業に参加できるよう、学生の能力や性格、適性に見合った履修指導を提供することが望まれる。

本コースでは、シラバスDBやWebによるわかりやすい履修登録、GPAの運用、多様な成績評価を支援する評価システム、指導履歴の蓄積と提供、授業評価の分析によるカリキュラム開発支援等、情報技術を活用した新たな取り組みを取り上げ、学習支援という視点からその可能性と課題について討議する。

<サブテーマ>

- ・学習支援としての時間割とシラバスDB
- ・科目選択と履修登録(科目番号、Web履修等)
- ・成績評価と履修指導(GPA、指導カルテ等)
- ・カリキュラム改革とFD支援(授業評価等)

3. ミニ事例発表

参加者事前レポートの内容により、数件のミニ事例発表をお願いする予定。限られた時間のなかで出来る限り多く発言の機会をつくるため、討議は小グループ(10名程度)で行う。参加者の中から進行役と書記をお願いする。

4. 参加者レポートの形式

教学事務部門での業務経験年数
自学の現状と情報技術活用事例
情報技術活用の効果(何が変わったか)
自学の課題と討議希望項目

- - - - -

キャリア支援コース

1. メインテーマ

「キャリア支援のための情報利活用」

2. グループ討議の内容・形態

就職活動の早期化に伴い、効果的な進路指導ができるよう、情報技術を活用した支援体制を整えることが急務となってきている。例えば、学生の学習履歴情報、課外活動の情報、卒業生(OB,OG)の追跡情報、企業求人情報など、様々な部署に亘る情報を学生単位に取りまとめ、相談・助言の材料とすることが望まれる。また、資格取得支援、インターンシップの奨励、実学中心の授業展開など、学生自らが就職への意識を高め適職選択が実現できるよう、部署間の連携を強めたキャリア支援体制が重要となる。

本コースは、学生から期待されるサービス(新しい支援サービス)の実現・向上を図るための問題点を抽出し、具体的な施策等について討議を行うこととしたい。

<サブテーマ>

インターネットにおける就職・キャリア支援の情報活用 部門間の連携と情報化
就職活動・キャリアアップを支援する業務体制の強化 インターンシップの取り組み、実施効果
卒業生（OB、OG）の情報収集と活用

3. 事例発表、~~ニ~~事例発表の有無

参加者全員に、各大学における就職情報化の現状と課題についてレポートを提出して頂き、先進的事例については発表をお願いします。

4. 参加者レポートの形式

以下の項目レポート(A4サイズ1ページ)の事前提出を参加条件とする。

参加大学のデータを討議の参考資料とするため、アンケート調査を行う

(アンケート内容)

参加者の現職勤務年数

就職及びキャリア支援等担当部署の職員数

就職及びキャリア支援部門等主催の支援講座の実施内容

(資格取得、筆記試験対策、ボランティア活動、NGO、インターシップ etc. (外注の有無))

他部署主催の支援講座の実施内容 (同上)

インターンシップの実施状況

稼働システムならびに新システム計画の紹介

システム上の課題と討議希望項目

- - - - -

奨学金コース

1. メインテーマ

「人材確保・育成のための経済支援」

2. グループ討議の内容・形態

不安定な経済情勢が続く中、奨学金へのニーズは急増しているが、大学の財政状況は厳しい。奨学金のための財源の確保や有効利用は各大学とも切実な課題である。従来の枠にとらわれず、学生支援、経済支援の原点に立ち返り、制度を見直し、変革していく時期にきている。

経済的困窮者に対する従来型の支援に加えて、人材育成のための経済支援も今後は重要な施策となるだろう。競争的環境の中、各大学の独自奨学金制度や学費免除等の制度は優秀な学生の確保、人材の育成等に関わって、大学の政策にとっても非常に重要な位置を占める。

本コースではこの点を踏まえ、今後奨学金はどうあるべきか、多様な視点に基づく奨学金を構築するためには、学生の勉学態度、学内でのサークル活動、ボランティア活動などあらゆる個人情報を整理・体系化するために、情報技術を駆使することが不可欠となることから、そのための情報システムの見直し・構築といった点について、意見を交換したい。

<サブテーマ>

各種経済支援と奨学金制度 確保・育成すべき人材像 ・人材確保・育成とIT技術を使った検証
学内情報の共有化と連携 個別奨学金システムと日本育英会イクシス

3. ~~ニ~~事例発表

参加者の事前レポートの内容をもとに、数件のミニ事例発表をお願いする予定である。

4.参加者レポートの形式

研修参加の目的

情報化に対する考え方

奨学金システムの構築・運用状況

討議・情報交換したいテーマ

* 当日、自校の奨学金制度および実状（受給者数等）が分かる資料（既成のもので可）を人数分持参してください。

- - - - -

管財・施設管理コース

1.メインテーマ

教育を支援する管財・施設管理とは」

2.グループ討議の内容・形態

教育の情報化が本格的に進められてきている今日、教育に使用する設備・施設の維持管理は、教員個々の授業の進め方に照らして適切な環境を提供するものでなければならない。

それには授業のシラバスに即した授業環境であるか否か、常に担当教員と連絡を取り、最適な教育環境を提供できるようなコミュニケーションシステムを構築することが必要となる。

このような視点に立って、これまでの施設・設備業務から脱却して、教育支援としての管財・施設管理の新しい役割を模索するとともに、肌理の細かい対応に即した施設、設備の運用データベースのあり方について意見を交わしたい。

<サブテーマ>

管財・施設管理の情報化（現状を捉える）

他情報との連携について（どのような工夫ができるのか）

教員のための管財・施設管理（教育への視点はもてるのか）

学生のための管財・施設管理（なにが提供できるのか）

管財・施設管理のアウトソーシング（なにを外注するのか）

3.事例発表、ミニ事例発表の有無

現状、運用している、あるいは準備を進めているシステムについてのミニ事例発表をお願いして、これらを参考にグループ討議を行いたい。また、レポートの内容をもとに、各大学の状況報告をお願いする予定。

4.参加者レポートの記入事項

以下の項目についてまとめたレポートの事前提出を参加の必須条件とする。

このグループへの参加動機

自校の管財・施設管理の運営状況

サブテーマに沿った提案、問題点、討議希望項目

- - - - -

教育支援コース

1. メインテーマ

授業改革におけるITの活用と教職一体の教育支援」

- 教育効果を高める授業支援とそれを推進する組織のあり方について -

2. グループ討議の内容 形態

本コースではここ数年、IT を活用した教育支援のあり方や課題についての討議が行われてきている。すでに、教育支援室といふたちで、組織的にも教育支援への取り組みが始まっている大学がある一方、支援の必要性を理解しつつも展望も描けないといった大学もあり、その温度差は大きくなるばかりである。

これからは、教育支援という「サービス」の中身と質が問われる。教員と職員の協働によって教育サービスを展開していくために、教育支援をするそれぞれの人、組織がどのような役割を担っていくのかを追求していくことが何より大切である。それには、情報技術を活用した新しい教育・学習を大学として積極的に推進していくことが避けられない。

そこで、学生が理解しやすいマルチメディアコンテンツの作成など授業支援に求められるサービスの内容、スキル、要員体制、学内組織間の連携、またサイトの運営や携帯端末の効果的な活用法など、学生の自立学習を実現するための支援についての方策について議論する。

<サブテーマ>

A. グループ

学ばせるための教育システムを構築するために

- 1) 授業コンテンツの電子化及び教育支援
- 2) 著作権と権利処理
- 3) 情報リテラシーとメディアリテラシー
- 4) 教育支援のための組織（支援室の在り方）
- 5) 他大学との連携

B. グループ

学生の学力向上を目指した魅力ある授業。質の高い授業を提供するための授業支援

- 1) 授業支援の取り組みについて。
 - 学内体制
 - 他大学との連携
- 2) 魅力ある授業教材コンテンツとは
- 3) e-Learning の効用と弊害
- 4) IT による授業支援
- 5) 授業評価
- 6) 図書館員としての授業支援

3. 事例発表、~~二~~事例発表の有無

参加者の事前レポートの内容により、数件の事例発表をお願いする予定。

4. 参加者レポートの記入事項

グループ活動を円滑に運営するため、サブテーマに沿った提案、問題点、討議希望項目と、大学における教育支援等の実施内容、運用体制などについて、A4 サイズ1枚以内にまとめ、事前に提出していただく。

— — — — —

大学構成員総利用者時代におけるセンター部門の役割

近年、ネットワーク環境が社会事象として一般化したことにより、関連法制が整備され、利用契約的側面や、法務的観点も新たに業務として意識する必要が出てきている。また一方、従来からの業務、例えば、ハードウェアを中心にした基盤整備については、次々と新技術・新方式が実用化される中でその設計・採用・実装・保守等に最善の努力が求められている。昨今の学園を巡る厳しい経営環境における人員・予算等の制約下、情報センター部門では、このような課題を解決し、より優れた教育・研究支援体制を確立するための提言・計画・実行を成し得る人材育成の体制作りが必要とされている。このことを踏まえ、情報部門のスタッフの育成、情報部門の今後の位置付け、将来像等について検討する。

なお、本コースは、昨年度のセンター部門研修会「情報マネジメント(管理者)」分科会と「情報環境整備」分科会を統合した内容となっているが、各参加者の関心、取り扱うテーマ等によっていくつかのグループに分割して討議を進めていく予定である。

情報センター部門の組織と業務の見直し

教育・研究における情報技術の普及とセンター部門との関わり

・学園の将来構想と基盤整備計画と設計の進め方

・教育方法のデジタル化とセンター部門による支援

情報コーディネータ ・人員計画とアウトソーシング ・ユーザ管理と安全なネットワーク運営

・ライセンスセンター機能 ・法規制と情報センターの役割 ・IT設備の計画・設計・運用

参加者事前レポートの内容確認を通じ、数件に事例発表等をお願いするので、お引き受け願いたい。

以下の項目について自校の状況をA4サイズ2枚以内にまとめ、事前提出をお願いする。

参加者の簡単な自己紹介 (所属名、電話番号、情報センター部門での在課年数、メールアドレス、大学の URL)

サブテーマ及びキーワードの各項目についての自大学の現状と課題

このコースで情報交換を希望する項目又は討議を希望する課題

— — — — —

「ITを活用したコミュニケーションシステムの効果について」

2.グループ討議内容・形態

学生に対する教育支援や様々な指導を行う上で、教職員が建学の精神・教学理念や学生情報などを共有化し対応することは、多様化した学生ニーズへの対応や学生支援の向上につながる有効な手段と言える。また、大学組織の中で事務情報を共有化し、学生の教育支援に活用することは、課を超えた協業体制や業務改善といった側面で有効であり、現在の大学を取り巻く厳しい環境を考えれば、事務経費の節約や合理化の面から展開すべき方策の一つと言える。そのため、IT を利用したコミュニケーションシステムの活用は、必要不可欠なものとなりつつある。しかし、一方でこうしたシステムを導入しても、展開する規模や運用方法によって、効果の成否が分かれているのも事実である。

そこで、本コースでは IT を活用したコミュニケーションシステムの導入による効果の可能性と限界について検討を行い、コミュニケーションシステム導入時の指針を作成していければと考えている。

<サブテーマ>

情報の共有化とは「何を共有するのか」

利用を促進するための仕組みや取り組み方」

教育への支援強化や学生サービスの向上、教育改革への「リンク」

<キーワード>

情報の共有化（学生情報・事務情報） ・グループウェアの活用 ・ファイルサーバー（共有フォルダー）
ペーパーレス 情報リテラシーの向上 セキュリティ

3.事例発表、ミニ事例発表の有無

参加者の事前レポートの内容をもとに、各大学の状況報告をお願いし、先進事例については20分程度のミニ事例をお願いする。また、限られた時間のなかで出来る限り多く発言の機会をつくるため、討議は小グループ（10名程度）で行う。参加者の中から進行役と書記をお願いする。

4.参加者レポート

自校の IT を利用したコミュニケーションシステムの導入・運用状況、特記すべき事例、このテーマに関する情報交換希望項目についてまとめたレポートの事前提出を参加の必須要件とする。また、本研修のテーマに関わる規程、規則、運用マニュアル等の資料があれば可能な限り討議資料としての提出をお願いしたい。

- - - - -

インターネットを利用した戦略的学園広報

1.メインテーマ

ホームページの戦略・戦術的活用」

2.グループ討議の内容・形態

ホームページは、今や「見せたい・知らせたい」の時代から、積極的に公開したくない情報も含め、社会が「見たい・知りたい」情報をどのように、どこまで公開するかを大学の公的使命に照らして整備することが望まれる。

他方、大学におけるホームページは、直接的・間接的な学生募集活動の重要なツールであることも事実であり、学外者への情報発信手段だけでなく、教職員・在学生・同窓会・保護者など大学構成員への情報提供や、相互コミュニケーションを通じての情報共有の促進手段でもありうる。

そこで、本コースでは、ホームページに期待される役割や機能が日々拡大していることに鑑み、今、学外向けは勿論のこと、広義の教育支援も含めた学内向けのホームページの実現に向け、留意すべき問題について整理し活発な討議を通じて、戦略的なホームページとしての姿を模索する。

<サブテーマ・キーワード>

- ・ユーザビリティ ・HPの戦略的思考 戦術的思考 (学外向け、学内向け 教育支援を中心に)
- ・トップページ構成 ・セキュリティ ・アウトソーシング 管理運用組織 規程

3.事例発表,ニ事例発表の有無

参加者事前レポートの内容確認を通じ,数件に事例発表等をお願いする。委員のほうでも問題提起のお話は準備したい。

4.参加者レポートの形式

以下の項目について自校の状況をA4サイズ2枚以内にまとめ,事前提出を参加の必須要件とする。

ホームページアドレス

<サブテーマ・キーワード>の各項目についての自学の現状と課題

このコースでの情報交換希望項目

大学情報化職員研修会 進行予定

1日目		2日目		3日目	
		9:30	分科会	9:30	分科会
12:00	受付	12:00	昼食	12:00	アンケート記入・解散
13:00	全体会	13:00	分科会 (途中休憩有)		キャンパス見学会予定 (希望者のみ)
14:40	移動・休憩				
15:00	分科会				
17:00	移動	17:00			
17:20	懇親会				
19:00					

スケジュールは変更することがあります。

平成15年度大学情報化職員研修会 参加申込書

大学名

事務連絡者氏名

所属及び役職名

所在地 :〒

TEL: (直内)

FAX:

E-mail:

参加者氏名	所属及び役職名	参加希望 グループ	年齢	性別 ○で囲んでください	キャンパス 見学会	勤務 年数	現職在 職年数	参加 動機	参加 目的	基礎講習会 参加経験	事務システム 研修会参加経験	E-mailアドレス
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	
		-	歳	男・女	参加 不参加	年	年			回	回	

参加の動機について以下の中から選んで記号を記入してください。「4.その他」の時は枠の中に短く記入してください。

1.自主的 2.上司からの指示 3.順番 4.その他

参加目的について以下の中から選んで数字を箱の中に記入してください。「5.その他」の時は枠の中に短く記入してください。

1.自己啓発 2.他大学の状況調査 3.一般教養 4.スキルアップ 5.その他

連絡先 : 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-14 NO1山崎ビル 4F 社団法人私立大学情報教育協会 事務局
TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473